

令和8年3月18日
近畿中国森林管理局

特定苗木の普及促進に向けた生産協定について（結果公表）

令和7年12月1日付けをもって公募に付したこのことについて、下記のとおり協定を締結したので公表します。

記

1. 協定内容

(1) 物件番号1（鳥取、広島ブロック）

申請無し

(2) 物件番号2（広島、山口ブロック）

① 協定締結日

令和8年3月4日

② 協定者の住所・氏名

山口県山口市桜畠3丁目2-1

山口県樹苗生産農業協同組合 代表理事組合長 笠本 俊也

③ 協定数量

植栽樹種	植栽時期	署等名	予定本数
ヒノキ	R9 秋	広島北部森林管理署	—
		広島森林管理署	4,200
		山口森林管理事務所	3,000
計			7,200
ヒノキ	R10 秋	広島北部森林管理署	6,700
		広島森林管理署	3,200
		山口森林管理事務所	2,100
計			12,000

④ 樹種及び規格

ヒノキ特定苗木（コンテナ苗）

苗長：30 cm上 根元径：3.5 mm上 根鉢の容量：150 cc 苗齢：2年生以上

⑤ 企画提案の内容

別紙のとおり

2. その他

(1) 本協定に基づく苗木は、令和9年度から10年度にかけて各物件の納入予定署等が発注する造林請負事業において使用することから、当該事業を受注した者は、本協定の相手方から協定に基づく数量の苗木を購入し、使用することとします。

なお、どの事業で協定の苗木を使用するかは、納入予定署等が発注する造林請負事業の入札公告により公表することとします。

(2) 販売予定単価は、送料を除く梱包等の出荷に要する費用を含んだ一本あたりの庭先渡し価格を指すことから、別途、実際の植栽予定箇所周辺までの送料を設定し、公表することとします。

なお、販売予定単価は協定締結時点の価格であり、協定の相手方から協定期間内に急激な賃金水準又は物価水準の変動により販売予定単価の見直しの申し出があり、近畿中国森林管理局長との協議の結果、妥当であると判断した場合は販売予定単価を変更することがあります。この場合は、改めて変更後の販売予定単価を公表することとします。

(3) 協定の相手方の連絡先は、(2)の送料の公表に併せてお知らせすることとします。

(担当：森林整備課 造林係)

企画提案の内容

1. 取組内容

項 目	取組内容
①特定苗木の生産・流通にかかるコストの縮減に向けた取組	<p>県の協力のもと、従来2年程度を要していたコンテナ苗の育成期間を1年程度に短縮する技術の研究・実証を行った。その結果、育苗期間の短縮による生産コストの縮減が可能となった。そこで得られた播種・施肥・温度水分管理等の手法を、研修会にて生産者に共有しており、県内の全コンテナ苗生産者が特定苗木の生産に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産予定地：5市1町（岩国市・山口市・美祢市・長門市・萩市・阿部町） ・研修会開催数：年1回程度 ・研修会参加人数：約15名
②特定苗木の出荷作業の効率化に向けた取組	<p>出荷作業における包装・梱包等を効率化する手法を全生産者に向けた研修会を通して普及している。また、当組合において抜取機等の機械貸出を実施し、作業効率の向上に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会開催数：年1回程度 ・研修会参加人数：約10名 ・抜取機貸出回数：年2回 ・抜取機貸出総人数：生産者5名
③特定苗木の安定供給に向けた取組	<p>特定苗木生産取組の初年度に、全コンテナ苗生産者へ特定苗木種子（得苗5,000本程度）の配布を行い、育成終了まで巡回指導を行っている。また、適正かつ安定した出荷を確保するため、適宜出荷検査も行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初年度配布種子量：平均500g/人 ・初年度取組生産者数：9名 ・巡回指導回数：生産者毎に年2回程度 ・出荷検査回数：生産者毎に年2回以上
④新たな技術の開発や販路拡大に向けた取組	<p>県の協力の下、充実種子選別装置により特定苗木の高発芽種子を選別し、コンテナ・プラグ容器への直播技術の研究を行うとともに、その普及を進めている。また、近隣県への移出を視野に入れ、現在の県内苗木価格より厳格である全国規格に準じた苗木の生産を目指し、販路拡大に向けた会議・情報交換を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高発芽種子を使用した直播生産の普及率：約2割（R5年度より開始） ・会議・研修会開催数：年2回程度 ・会議・研修会参加人数：約12名 ・苗木規格；スギコンテナ根元径を4.0mm上に引き上げる予定あり

<p>⑤地域の林業等への貢献に向けた取組</p>	<p>県内林業事業体及び造林者を対象に、コンテナ苗を活用した植栽研修を実施している。コンテナ苗の特性である植栽可能期間の拡大や植栽作業の効率化を実際に体験してもらうことで普及を図り、県内林業の再造林率向上に寄与している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会開催数：年1回程度 ・研修会参加人数：約16名 ・県内森林組合（5社）の管轄で植栽研修を実施済み
<p>⑥上記以外に独自で行っている取組等</p>	<p>高発芽率の特定苗木種子による直接播種において、従来の春播種に加え秋播種技術の研究を行い、その普及を進めている。これにより育苗期間の分散化と出荷可能時期の拡大を図り、需給バランスの適正化に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高発芽種子を使用した直播生産による秋播種への移行率：約1割

2. 苗木の販売価格

203.4 円/本

注1 消費税抜き価格

2 送料を除いた梱包等の出荷に要する費用を含む庭先渡し価格